



矢部先生(左)



まちおこしまちづくりはまちの真ん中で 現場で学ぶ知識、現場で生かす知恵



フィールドワークを中心に

総合科学部 社会創生学科
地域創生コース 矢部拓也研究室

◎ナビゲーター
総合科学部 社会創生学科 4年
森東 洋 (もりひがしひろし)
総合科学部 社会創生学科 4年
笠井 明日香 (かさいあすか)

消費者が郊外の大型商業施設に
拡散する中、都市の中心部や商店
街の衰退は、徳島に限らず深刻な
問題です。徳島市の東新町商店
街も例外ではありません。矢部拓
也(やべたくや)先生の研究室は週
に1回、その東新町商店街の真ん
中にあるカフェの2階で行われま
す。

自ら経験し学ぶこと、現場で考
えること、を重視する矢部先生は、
学生たちの自由な発想を重んじな
がらも、上滑りしないディープで
ワイドなフィールドワークに導い
ていきます。

街おこしイベントへの参加、自
分たちで考える企画、提案など行
動は多岐にわたります。

例えば、毎年の「吉野川フェ
スティバル」(同実行委員会)での
ラフティング体験。「徳島マル



シエ」と交互に開催されるフリー
マーケット「トモニSunSun
マーケット」(NPO法人チャレン
ジサポーターズ)では手作り石けん
「Aroma cube」の販売。鳴門市
ではふるさと納税の記念品をさが
して、パンフレットやデザインま
でも考案・提案しました。

それぞれがテーマを見つけて実践

ひとりひとりが自分でテーマを
見つけて実現させようとがんばる
中、お互いにサポートやアドバイ
スをしながら協力してくれます。
森東さんも笠井さんも徳島生ま

れ。地元で就職が決まっています。
ふるさとへの思いは矢部研究室の
活動でさらに強くなったようです。
「本からは学べないものが得られ
ます。またいろんな人と話す機会
が多く、経験値が上がります」
と森東さん。笠井さんも、
「このゼミで学んだことはみんな
プラスになっています。学んだこ
とを徳島の発展のために生かした
いです」

発見力・創造力を養ってくれる

ちょっと辛口でストレートに物
言う矢部先生。それも魅力です。

講演会などにも積極的に学生を
連れていき、常に最新のものを学
ばせます。参加するだけでなく、
その後では意見交換などで、自分
で考えることの大切さを教えてく
れます。

「先生は顔が広くて、各地の成功
例を学べる合宿を企画して、観光
がそのまま勉強になったりします。
時には飲み会もありますよ」
「仲良くて、とても楽しい研究室
です。社会のことを多く学べて、
そんな声が、この研究室の魅力
語っています。」

